

電子出版講習会

PitStopを使用した修正方法

片桐 広明

- 修正作業の流れ
- PitStopとは？
- 実演

論文修正の流れ

- ハードコピーを見てレイアウト、テキストスタイルを確認
- Acrobat でPDFファイルを開きフォント情報を確認
- ここまででエラーが無ければ、そのまま最終処理へ

エラーがある場合

- エラーの種類により修正方法を決める
- レイアウトのエラー
 - ◆ ソースファイルに戻って修正
- PSファイルエラー
 - ◆ PSファイル編集又は作り直し、Tailorで修正
- フォントエラー
 - ◆ PitStopで修正

最も効率の良い方法を見極めるのが重要

PitStopとは？

- Adobe Acrobat 用のプラグイン
 - ◆ 製品版の Acrobat が必要
 - ◆ ワープロ感覚でPDFファイルを編集することが可能
- Windows 版と Macintosh 版
- 実演は Windows 英語版

PitStopのメリット

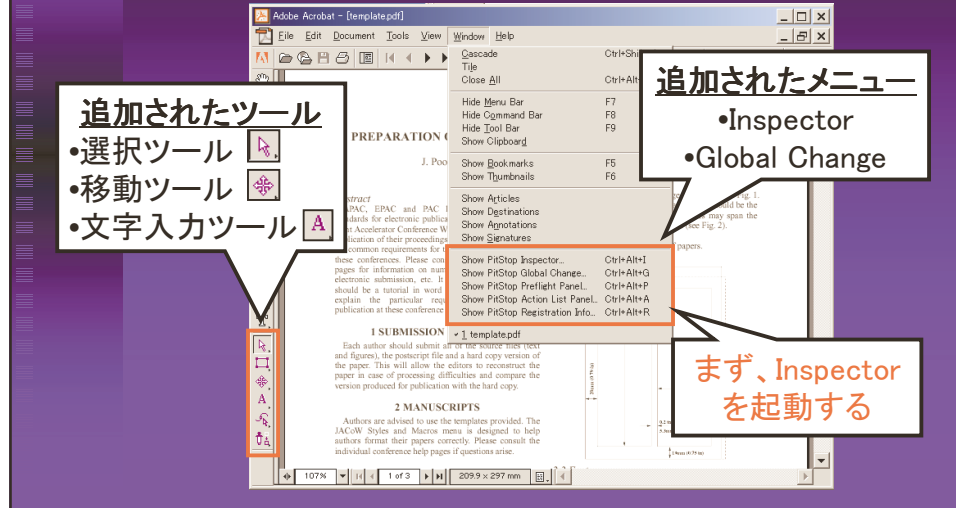
- フォントの検索が比較的容易
- Acrobat上で編集できるので、修正が終わったら直ぐに最終処理に入ることができ、効率が良い

ここから実演しながら説明します



Acrobat + PitStop

- フォント修正には以下のツール、メニューを使用

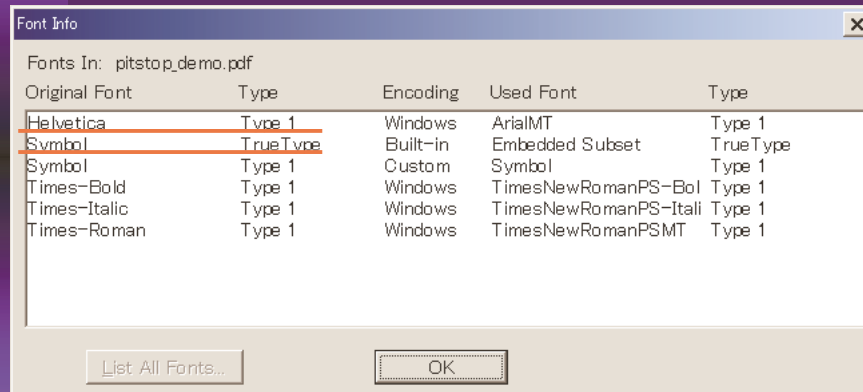


レイアウトの確認

- 全体的に見て、レイアウトやテキストスタイルがおかしくないか確認する
- 例題では、Section Heading 行のスタイルが“Times-Bold”になっている部分がある
 - ◆ このようなミスは、Acrobat / PitStop では検出できない

フォント情報の確認

- [File] > [Document Info] > [Fonts]



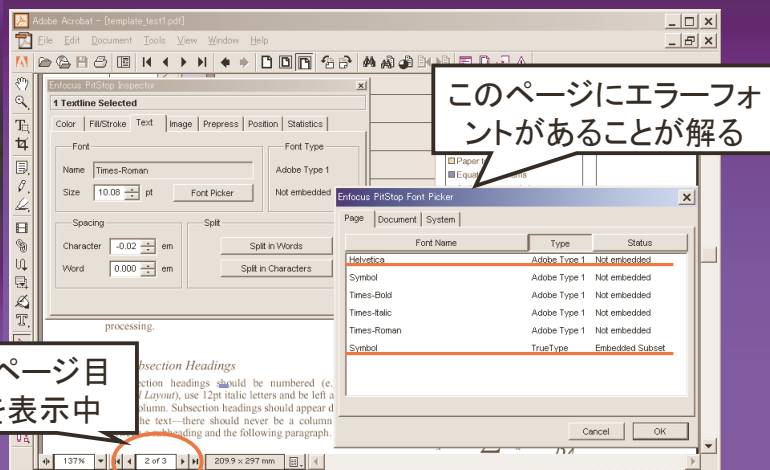
Helvetica、Symbol(TrueType)が使用されている

エラーフォントの検索

- ページの絞り込み
 - ◆ 1ページ毎に[Font Info]を確認
 - ◆ 又は、1ページ毎に[Font Picker]で確認
- ここまでは簡単

エラーフォントの検索

- [Inspector] から [Font Picker] を起動



エラーフォントの検索

- ページ中の何処にあるか？
 - ◆ 図、数式にありがち
- 選択ツールで範囲を絞り込み、[Inspector] で確認
 - ◆ 段落→行→1文字の順

PitStop による修正

フォント検索結果

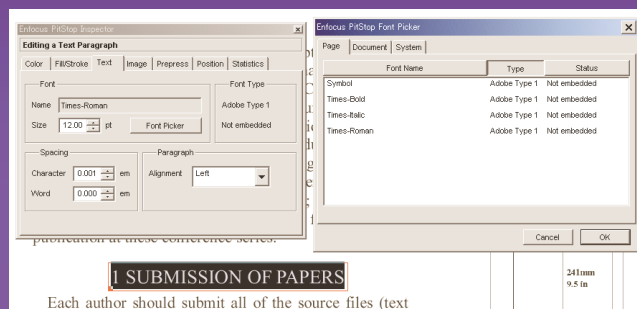
- 2ページ目に“Symbol (TrueType)”あり
 - ◆ 数式の中の“ Σ ”
- 2ページ目に“Helvetica”あり
 - ◆ グラフ中の文字全体

次のように修正

- 見出しを“Times-Bold”に変更
- “Helvetica”を“Times”に変更
- “Symbol(TrueType)”を Symbol(Type1)”に変更

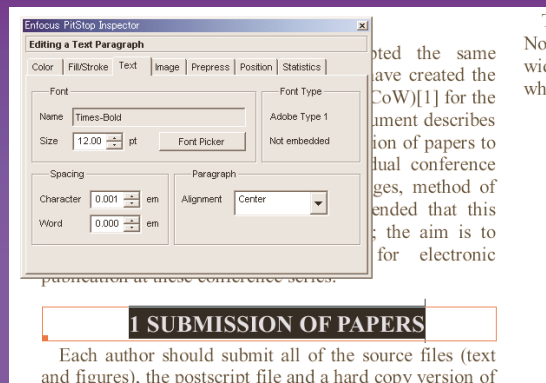
見出しを Times-Bold に変更

- 文字編集ツールを段落モード  にし、見出しの行全体を選択
- [Inspector] から [Font Picker] を開き、“Times-Bold” を選択して、[OK]



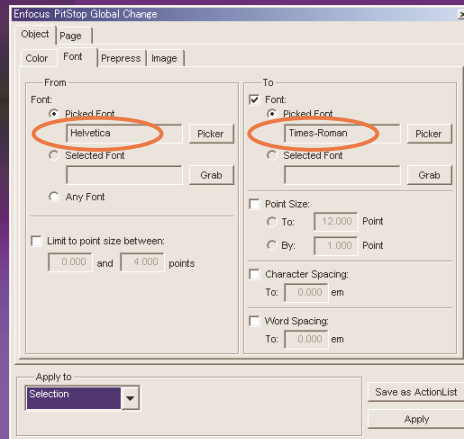
文章揃え

- 文字間隔が自動的に調整され右よりになる
- 段落の幅を、本文の幅に合わせる
- [Inspector] で中央揃えに設定



Helvetica を Times に変更

- ここでは [Global Change] を使用して、一括変換する



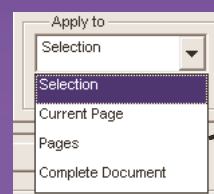
Pickerでフォントを指定

[From] : Helvetica

[To] : Times-Roman

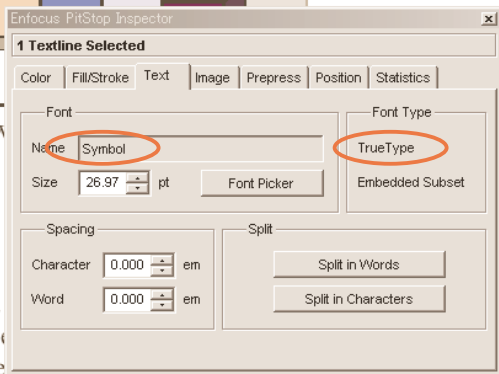
Global Change の使用法

- 変換の対象となる範囲を指定する
- 選択範囲のみ、現在のページ、書類全体など指定が可能
- ここでは 選択ツールで選択した範囲内のみ変換する
- [Apply] で実行



範囲選択
メニュー

フォントの検索結果



The screenshot shows the 'Enfocus PitStop Inspector' dialog box with the 'Text' tab selected. The 'Font' section shows 'Name' set to 'Symbol' and 'Size' set to '26.97 pt'. The 'Font Type' section shows 'TrueType' selected. Below these are 'Spacing' and 'Split' options.

encountered during p

ls a number, place it
column (see Eq. 1). U
an font, not the italic f


umn break
aph.

$$E_x(z) = \sum_k E_k \sin \frac{2\pi}{\beta\lambda} z$$


Symbol (TrueType → Type1)

- Symbol (TrueType) と Symbol (Type1) は、文字コードが違うため、[Font Piker] で変換すると文字化けする
- ここではSymbol (Type1) を新規テキストとして入力する

新規テキストの入力

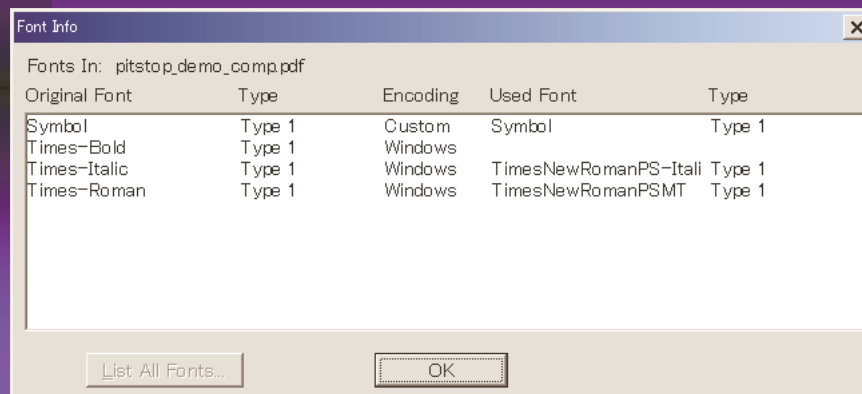
- 文字入力ツール  を使用する
- 適当な場所でクリックし、“S”を入力
- [Font Picker] で、Symbol (Type1) を選び“Σ”に変換
- [Inspector] でサイズを調整

テキストの移動

- TrueType の“Σ”を削除し、新しい“Σ”を移動する
- テキスト選択後、移動ツール  を使用
- マウス操作で大きく移動、カーソルキーで微調整

フォント情報の確認(修正後)

- 修正が完了したら、一旦セーブしてフォント情報を再確認する



まとめ(修正作業の感想)

- チームワークが重要
 - ◆ 各自、得意分野を担当する
- 行き詰まったら・・・
 - ◆ 気分転換する
 - ◆ 他の論文を先に見る
- 習うより慣れろ